



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 9845 URL <http://www.parkercorp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 善和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 山崎 敏男 (TEL) 03-5644-0600
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 23,909 | 5.7 | 1,853 | △0.3 | 2,052 | 19.5 | 1,420 | 21.4 |
| 29年3月期第2四半期 | 22,629 | 0.6 | 1,857 | 47.1 | 1,716 | 26.6 | 1,169 | 25.9 |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,780百万円(216.9%) 29年3月期第2四半期 877百万円(1,515.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 54.85 | — |
| 29年3月期第2四半期 | 45.16 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 50,162 | 29,079 | 52.9 |
| 29年3月期 | 47,242 | 26,443 | 50.9 |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 26,514百万円 29年3月期 24,060百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 3.50 | — | 5.00 | 8.50 |
| 30年3月期 | — | 5.00 | | | |
| 30年3月期(予想) | | | — | 5.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 47,000 | △2.0 | 3,500 | △11.6 | 3,700 | △8.4 | 2,300 | △12.1 | 88.81 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年3月期2Q | 26,801,452株 | 29年3月期 | 26,801,452株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期2Q | 906,600株 | 29年3月期 | 904,705株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 30年3月期2Q | 25,896,125株 | 29年3月期2Q | 25,901,585株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では政策の不安定感はあるものの、堅調な雇用環境を背景に個人消費は好調に推移しており、総じてグローバルでは緩やかな回復で推移しました。アジアにおきまして、中国経済は弱含む指標が散見されたものの総じて好調は持続しており、ASEAN諸国の景気も堅調に推移しました。しかしながら北朝鮮関連などの地政学リスクも引き続き懸念される状況にあります。

わが国経済につきましては、東日本を中心とした8月の長雨の影響などもあり個人消費は低迷しましたが、底堅い内外需を背景に緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済情勢の下、当社グループは主力の自動車業界や電器・電子部品業界の市場動向に注視しながら、各事業セグメント毎に顧客により密着した事業活動を展開してまいりました。その一環としてのマーケティング力の強化に基づく製品開発を推進し、経営の両輪である国内事業の競争力強化と海外収益の拡大を図ってまいりました。

その結果、当社グループの第2四半期の連結業績は、売上高23,909百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は1,853百万円（前年同期比0.3%減）、経常利益は2,052百万円（前年同期比19.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,420百万円（前年同期比21.4%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

試験機械、食品材料と製靴機械の販売が好調に推移しました。また国内自動車関連企業の生産好調により自動車用内装製造設備や塗装設備の製造販売も堅調に推移しました。

当部門の売上高は1,921百万円（前年同期比28.5%増）、営業利益は157百万円（前年同期比48.0%増）となりました。

・化成品部門

自動車業界向け製造販売は、国内外におきまして主要自動車メーカー向けの商品の製造販売量の増加により売上は好調に推移しましたが、原材料の仕入価格高騰等により営業利益は減益となりました。

当部門の売上高は8,248百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は814百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

・化学品部門

国内市場向けの一般工業用ケミカル及び特殊ケミカルの製造販売が順調に推移し、輸出関連の販売も順調に推移しました。また原材料コストや生産効率の改善等により収益が増加しました。

当部門の売上高は3,051百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は250百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

・産業用素材部門

家電用防音材の製造販売は、海外では原材料の高騰や生産調整による減産の影響がありましたが、国内では猛暑の影響による顧客の増産により好調に推移しました。自動車用防音材の製造販売は、国内軽自動車の販売は好調に推移しましたが、主に北米向けの輸出販売減少の影響により低調に推移しました。

当部門の売上高は7,611百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は423百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

・化工品部門

国内カーケアケミカルでは、東日本を中心とした8月の長雨の影響はありましたが販売は好調に推移しました。またファインケミカル製造販売は、新規製品採用などにより堅調に推移しました。しかし前年にありました洗浄設備の大型案件がなく減収減益となりました。

当部門の売上高は1,915百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は116百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

・その他部門

中国やロシアからの輸入販売は堅調に推移しましたが、連結子会社が営んでいたガソリンスタンド事業を都市計画により休止したことにより減収となりました。

当部門の売上高は1,162百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は92百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ2,920百万円増加し、50,162百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加(1,098百万円)、試験設備の新規大型投資等による有形固定資産の増加(158百万円)、保有株式の時価の上昇等による投資有価証券の増加(1,652百万円)があったことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ284百万円増加し、21,082百万円となりました。主な要因は、短期借入金の減少(292百万円)、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の減少(41百万円)がありましたが、期末日が休日であることから期末日満期支払手形の影響などによる支払手形及び買掛金の増加(426百万円)、設備投資による流動及び固定を合わせたリース債務の増加(148百万円)によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ2,636百万円増加し、29,079百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(1,292百万円)及びその他有価証券評価差額金の増加(1,166百万円)があったことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ、2,528百万円の増加の9,620百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,051百万円(前年同期は1,716百万円)、減価償却費554百万円(前年同期は511百万円)、為替差益41百万円(前年同期は為替差損114百万円)、法人税等の支払額617百万円(前年同期は454百万円)等により、2,676百万円の収入(前年同期は1,546百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規製造設備・自動車用金型等の有形固定資産の取得による支出651百万円(前年同期は485百万円)、ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出18百万円(前年同期は36百万円)、関係会社出資金の払込による支出270百万円(前年同期は209百万円)等により、1,009百万円の支出(前年同期は758百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額によるキャッシュ・フローの支出260百万円(前年同期は収入624百万円)、長期借入金の借入による収入137百万円(前年同期は600百万円)、長期借入金の返済による支出321百万円(前年同期は1,525百万円)、配当金の支払129百万円(前年同期は90百万円)等により、647百万円の支出(前年同期は457百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、本日(平成29年11月7日)公表の「業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ」をご覧ください。なお、通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表の業績予想から変更はありません。今後におきましても、経済環境や市場動向を注視し、業績予想の適切な開示に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,667 | 9,766 |
| 受取手形及び売掛金 | 13,004 | 12,597 |
| 商品及び製品 | 2,989 | 2,953 |
| 仕掛品 | 387 | 404 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,030 | 1,017 |
| 繰延税金資産 | 340 | 316 |
| その他 | 752 | 909 |
| 貸倒引当金 | △4 | △3 |
| 流動資産合計 | 27,167 | 27,961 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 8,097 | 8,328 |
| 減価償却累計額 | △5,090 | △5,238 |
| 建物及び構築物(純額) | 3,006 | 3,090 |
| 機械装置及び運搬具 | 6,867 | 7,055 |
| 減価償却累計額 | △5,114 | △5,285 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,753 | 1,770 |
| 土地 | 6,125 | 6,182 |
| リース資産 | 347 | 487 |
| 減価償却累計額 | △203 | △206 |
| リース資産(純額) | 143 | 281 |
| 建設仮勘定 | 381 | 275 |
| その他 | 3,606 | 3,595 |
| 減価償却累計額 | △3,030 | △3,049 |
| その他(純額) | 575 | 545 |
| 有形固定資産合計 | 11,986 | 12,144 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 52 | 52 |
| リース資産 | 0 | 0 |
| その他 | 456 | 435 |
| 無形固定資産合計 | 509 | 488 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,501 | 7,153 |
| 長期貸付金 | 260 | 233 |
| 繰延税金資産 | 127 | 125 |
| その他 | 1,872 | 2,221 |
| 貸倒引当金 | △185 | △166 |
| 投資その他の資産合計 | 7,577 | 9,568 |
| 固定資産合計 | 20,074 | 22,200 |
| 資産合計 | 47,242 | 50,162 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,732 | 8,158 |
| 短期借入金 | 3,446 | 3,153 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 812 | 786 |
| リース債務 | 89 | 113 |
| 未払法人税等 | 642 | 476 |
| 賞与引当金 | 665 | 667 |
| 繰延税金負債 | 3 | 0 |
| その他 | 1,718 | 1,410 |
| 流動負債合計 | 15,111 | 14,767 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,053 | 3,037 |
| リース債務 | 65 | 190 |
| 繰延税金負債 | 839 | 1,256 |
| 役員退職慰労引当金 | 197 | 259 |
| 退職給付に係る負債 | 1,439 | 1,480 |
| 資産除去債務 | 15 | 16 |
| その他 | 76 | 75 |
| 固定負債合計 | 5,687 | 6,315 |
| 負債合計 | 20,798 | 21,082 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,201 | 2,201 |
| 資本剰余金 | 2,277 | 2,277 |
| 利益剰余金 | 16,560 | 17,853 |
| 自己株式 | △209 | △210 |
| 株主資本合計 | 20,830 | 22,121 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,001 | 4,168 |
| 繰延ヘッジ損益 | △2 | 5 |
| 為替換算調整勘定 | 231 | 219 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1 | △0 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,229 | 4,392 |
| 非支配株主持分 | 2,383 | 2,565 |
| 純資産合計 | 26,443 | 29,079 |
| 負債純資産合計 | 47,242 | 50,162 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 22,629 | 23,909 |
| 売上原価 | 16,738 | 17,679 |
| 売上総利益 | 5,891 | 6,230 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,033 | 4,377 |
| 営業利益 | 1,857 | 1,853 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13 | 14 |
| 受取配当金 | 31 | 35 |
| 持分法による投資利益 | 77 | 83 |
| 為替差益 | - | 55 |
| その他 | 45 | 47 |
| 営業外収益合計 | 168 | 235 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 30 | 28 |
| 為替差損 | 268 | - |
| その他 | 10 | 8 |
| 営業外費用合計 | 309 | 36 |
| 経常利益 | 1,716 | 2,052 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 0 |
| 特別利益合計 | 2 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | 0 |
| 固定資産除却損 | 1 | 1 |
| 特別損失合計 | 2 | 1 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,716 | 2,051 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 422 | 451 |
| 法人税等調整額 | 1 | 20 |
| 法人税等合計 | 424 | 472 |
| 四半期純利益 | 1,292 | 1,578 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 123 | 158 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,169 | 1,420 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,292 | 1,578 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 688 | 943 |
| 繰延ヘッジ損益 | △5 | 7 |
| 為替換算調整勘定 | △1,321 | △4 |
| 退職給付に係る調整額 | 3 | 0 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 219 | 254 |
| その他の包括利益合計 | △415 | 1,201 |
| 四半期包括利益 | 877 | 2,780 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 956 | 2,584 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △78 | 195 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,716 | 2,051 |
| 減価償却費 | 511 | 554 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △8 | △3 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 6 | 2 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △17 | 41 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △37 | 62 |
| 受取利息及び受取配当金 | △44 | △49 |
| 支払利息 | 30 | 28 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △77 | △83 |
| 有形固定資産除却損 | 1 | 1 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △1 | △0 |
| 為替差損益(△は益) | 114 | △41 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △501 | 402 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 204 | 43 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 115 | 377 |
| その他 | △32 | △120 |
| 小計 | 1,979 | 3,266 |
| 利息及び配当金の受取額 | 50 | 55 |
| 利息の支払額 | △28 | △28 |
| 法人税等の支払額 | △454 | △617 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,546 | 2,676 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額(△は増加) | - | △33 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △485 | △651 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 6 | 1 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △36 | △18 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △5 | △5 |
| 貸付けによる支出 | △30 | - |
| 貸付金の回収による収入 | 0 | 27 |
| 関係会社出資金の払込による支出 | △209 | △270 |
| その他 | 2 | △59 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △758 | △1,009 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 624 | △260 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △57 | △58 |
| 長期借入れによる収入 | 600 | 137 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,525 | △321 |
| 配当金の支払額 | △90 | △129 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △6 | △13 |
| その他 | △0 | △1 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △457 | △647 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △486 | 10 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △155 | 1,029 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,247 | 8,577 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | - | 14 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,092 | 9,620 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 | 四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2 |
|-----------------------|---------|-----------|-----------|-------------|-----------|--------|--------------|--------|------|--------------------------------|
| | 機械部門 | 化成品 部門 | 化学品 部門 | 産業用 素材部門 | 化工品 部門 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,495 | 7,408 | 2,885 | 7,708 | 1,965 | 21,463 | 1,165 | 22,629 | — | 22,629 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 16 | 91 | 39 | 108 | 1 | 258 | 236 | 494 | △494 | — |
| 計 | 1,511 | 7,500 | 2,925 | 7,817 | 1,967 | 21,722 | 1,402 | 23,124 | △494 | 22,629 |
| セグメント利益 | 106 | 850 | 188 | 509 | 130 | 1,785 | 72 | 1,857 | — | 1,857 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

なお、当該変更により、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 | 四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2 |
|-----------------------|---------|-----------|-----------|-------------|-----------|--------|--------------|--------|------|--------------------------------|
| | 機械部門 | 化成品 部門 | 化学品 部門 | 産業用 素材部門 | 化工品 部門 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,921 | 8,248 | 3,051 | 7,611 | 1,915 | 22,747 | 1,162 | 23,909 | — | 23,909 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 32 | 71 | 48 | 154 | 1 | 309 | 337 | 646 | △646 | — |
| 計 | 1,954 | 8,319 | 3,099 | 7,766 | 1,916 | 23,056 | 1,499 | 24,556 | △646 | 23,909 |
| セグメント利益 | 157 | 814 | 250 | 423 | 116 | 1,761 | 92 | 1,853 | — | 1,853 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。